

# 野球肘検診

NPO 法人北海道野球協議会の野球肘検診を当院リハビリ室で開催しました。北海道野球協議会の医師 1 人、理学療法士 2 人を迎え、当院の医師 1 人、理学療法士 4 人で対応させて頂きました。新型コロナウイルス感染の流行により 1 年以上の延期を経て、また感染対策の為、規模を縮小しての開催となりました。

40 数名の小学生が参加され、肘の超音波検査、講習会、理学検診、ストレッチ指導を行いました。最大の目的は外側型の野球肘-離断性骨軟骨炎(OCD)-の早期発見、早期治療です。この疾患は、初期は痛みが無く、症状を自覚した時には重症化して、手術が必要になってしまう事が多いことが問題となっております。今回 1 名の方の OCD が発見されました。また内側型の野球肘の方も多く認めました。ストレッチ後は腕が軽くなったという声が聞かれていました。

今後、所見を指摘された子供さんは受診され、外来、リハビリでフォローさせて頂くことになります。少年少女が、健康に野球を継続していくお手伝いを継続して行きたいと思えます。



エコー検査の様子

理学検診の様子



ストレッチの様子

